

泉州南未来像研究会

【資料3】

設置目的

- 人口減少や高齢化により、今後様々な行政課題がより顕在化する中、市町村が将来にわたって持続的かつ安定的に住民サービスを提供できる機能や体制を備えることが必要。
- また、市町村の将来のあり方や進むべき方向性については、現状と課題に対する住民等の十分な認識や理解のもと「目指す未来像」を議論し、その結果を様々な政策や計画に反映していくことが重要。
- そこで、泉南地域の泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町において、客観的なデータを基に、行政需要や経営資源に関する長期的な変化・課題の見通しを整理するとともに、3市1町の将来性を広域でとらえた一体的なまちづくり等の方向性と、それにふさわしい行政サービスの提供のあり方について検討及び研究を行う。

泉州南未来像研究会

泉佐野市長

泉南市長

阪南市長

熊取町長

大阪府
市町村局長

事務局：大阪府市町村局

※本研究会に向け、部会の進捗管理等を行う。

●●部会

●●部会

●●部会

...

【研究テーマの候補】

< 3市1町からの提案テーマ >

・ **地域ポイント** ・ **公共施設のあり方** ・ 公共交通 ・ 防災 など

< 大阪府からの提案テーマ >

・ **行政運営のあり方** (事務の共同化・共同処理…事務委託、機関等の共同設置、一部事務組合や地方独立行政法人の活用、その他連携など)

◆泉州南未来像研究会に**各部会**を設置。

令和7年度の部会は、「**地域ポイント検討部会**(部会長：泉佐野市)」、「**公共施設のあり方検討部会**(部会長：泉南市)」、「**行政運営のあり方検討部会**(部会長：大阪府)」の3つ。

◆各部会は、**原則4市町**が参加。

◆部会で取り扱うテーマにおいて専門的な議論が想定される場合、**3市1町の所管部局が中心**となって検討・研究を行い、結果を研究会へ報告。

◆本研究会での研究テーマについては、必要に応じて、**泉州南広域連携勉強会と連携**を図っていく。